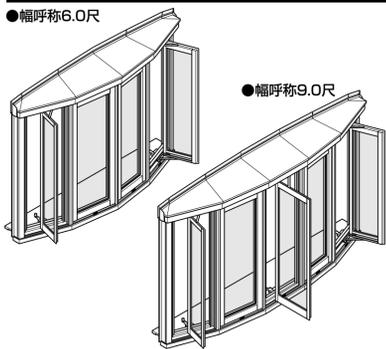


アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー 居室用出窓J型 組立て説明書

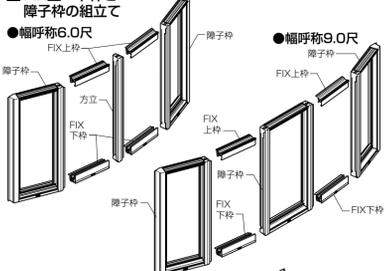
■ 姿図

●幅呼称6.0R

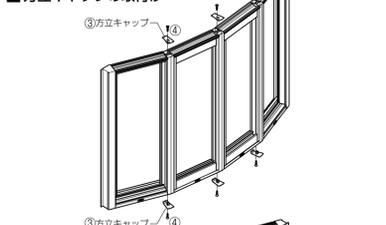


■ 組立て手順

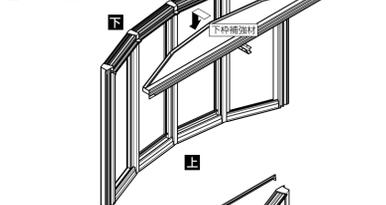
1. FIX上・下枠と障子枠の組立て



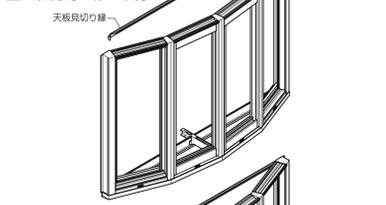
2. 方立キャップの取付け



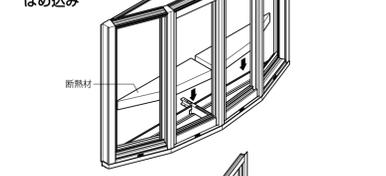
3. 下枠補強材の取付け



4. 天板見切り縁の取付け



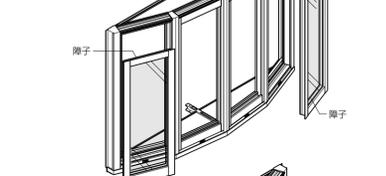
5. 断熱材のはめ込み



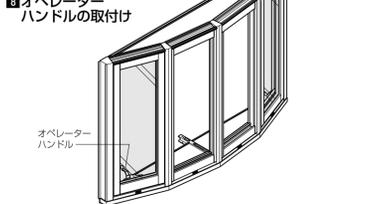
6. 障子の組立て



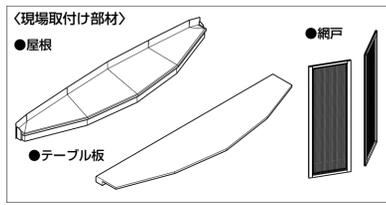
7. 障子の取付け



8. オペレーターハンドルの取付け



9. 障子の開閉確認



■ 組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
▲注意… 組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載されていますので必ずお読みください。

▲注意

- 組立て時はコーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように合わせてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- 本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大95kg(屋根を含めると110kg)になります。施工は対応する人数で行ってください。
- 仮止め状態で障子の開閉等をしないでください。障子が落下するおそれがあります。

■ 組立て上へのお願い

- 本製品は、本体・屋根・障子・下枠補強材で構成され、それぞれ別梱包となっています。
- テーブル板は色・形状を選定するため、別売りとなっています。
- テーブル板と屋根の内側に雨がからないようにしてください。製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 必ず下枠補強材を取り付けて出窓を立たれた状態で運搬してください。枠が変形するおそれがあります。
- ねじは2.5±0.5N・m(25±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみがたつきのないことを確認してください。
- ノリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいので、ぶつたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■ 組立て部品一覧表

※下表の番号は本文中の番号を示します。間違いないよう使用してください。

● 本体組立て用

番号	①	②	③	④	⑤
名称	ジョイント板(上)	ジョイント板(下)	方立キャップ	φ4×12mmタッピンねじ	φ4×16mmタッピンねじ
写真					
使用箇所	障子枠-FIX上枠 方立-FIX上枠	障子枠-FIX下枠 方立-FIX下枠	方立	方立キャップ	下枠補強材-下枠
袋表示	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし	組立用

● 障子組立て用

番号	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
名称	φ8プッシュボタン	φ4×20mmタッピンねじ	φ4×30mmタッピンねじ(雄金付)	M4×10mm小ねじ	M4×10mmトラス小ねじ
写真					

■ 組立て詳細図

※図中の番号は、組立て部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

1. FIX上・下枠と障子枠の組立て

- 障子枠・方立をFIX上枠を合わせてジョイント板(上)をハンマー等で最後まで打ち込みます。
- 同様に、FIX下枠・ジョイント板(下)を取り付けます。

※ジョイント板は、必ず最後まで打ち込んでください。屋根・方立キャップが取り付けられなくなります。

※ジョイント板は外側から先に打ち込んでください。内側から打ち込むと天板見切り縁が取り付けられなくなります。

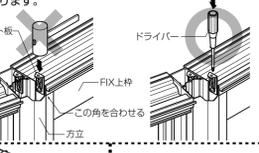
※枠を上下に反転させる時は、FIX上・下枠が変形しないようにしてください。特に幅呼称9.0Rの場合は、中央の障子枠を押しながら反転してください。

▲注意

- コーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように合わせてください。

■ A部詳細図

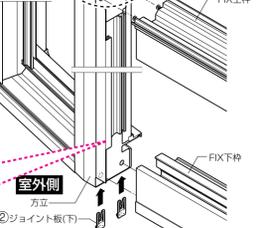
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



■ B部詳細図

●下枠補強材から断熱材を取り出します。

●出窓本体の下枠に下枠補強材を当て、下枠の加工穴に合わせてねじ止めします。



■ C部詳細図

●ガラスコーナーシールを室内側に、左右縦縁に差し込みます。

※縦縁の上下残りの切欠き部にガラスが12mm出るようにしてください。(C部詳細図)

●上下残りを差し込み、縦縁とねじで仮止めします。

※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木等を当ててください。

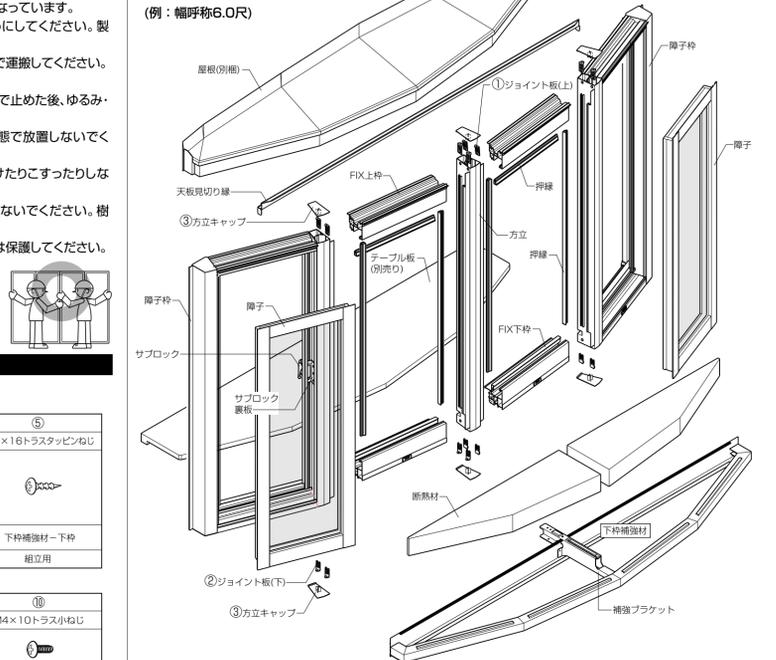
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

●ハンマーで木を当てて

■ 各部名称図

※図中の番号は、組立て部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

(例: 幅呼称6.0R)



■ 下枠補強材の取付け

●下枠補強材から断熱材を取り出します。

●出窓本体の下枠に下枠補強材を当て、下枠の加工穴に合わせてねじ止めします。

●ねじはあまり締めすぎないようにしてください。

●方立キャップを方立の上部・下部に取り付けます。

●方立キャップ

■ B部詳細図

●下枠補強材から断熱材を取り出します。

●出窓本体の下枠に下枠補強材を当て、下枠の加工穴に合わせてねじ止めします。

●ねじはあまり締めすぎないようにしてください。

●方立キャップを方立の上部・下部に取り付けます。

●方立キャップ

■ 天板見切り縁の取付け

●天板見切り縁両端の部品を、縦縁の切欠きに差し込みます。

●ねじで取り出した断熱材を下枠補強材へ押し込みます。

●断熱材

■ 障子の取付け

●障子に付いているアームを引き出し、90°に広げます。

●上アームを障子つり込みピース(上)に引っかけます。(I図)

●下アームを障子つり込みピース(下)に向けてスライドさせます。(II図)

●アームの長穴部(上下各3カ所)を枠に仮止めします。(⑨ねじ使用)

●障子を45°くらいまで閉め、皿穴部から枠に固定します。(⑨ねじを使用)

●⑩ねじを締め付けます。

●障子つり込みピースは、障子つり込みを補助するためのものです。ここだけを固定した状態で障子の開閉等、アームが動くような力をかけないでください。ただし本固定用のねじで止めてください。

●仮止め状態で障子の開閉等をしないでください。障子が落下するおそれがあります。

●仮止め状態で障子の開閉等をしないでください。障子が落下するおそれがあります。